

図書館ふくい 平成16年1月

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11 電：0776-33-8860 ホームページ URL：http://www.library.pref.fukui.jp/

祝日を開館します！ ～休館日変更のお知らせ～

平成16年1月から、これまで休館していた**祝日(休日)を開館**することになりました。**かわりに祝日の翌日は休館となります。ただし、祝日の翌日が土・日曜日または祝日の場合は、開館します。**これにより県立図書館の休館日は、月曜日、第4木曜日、祝日の翌日(土・日曜日の場合を除く)、図書点検期間、年末年始となります。

なお、開館時間は、平日は午前9時～午後7時、土・日曜日・祝日は、午前9時～午後6時です。

	日	月	火	水	木	金	土
1 月	・	・	・	・	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
2 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	・	・	・	・	・	・

1/12(月)成人の日と2/11(水)建国記念の日は開館します。

かわりに1/13(火)と2/12(木)は休館となります。

1月の行事

<おはなし会>

1月10日(土)・24日(土)午後3時～ おはなしのへや(子ども室内)にて

毎月第2と第4の土曜日、幼児から小学校中学年までで、一人でおはなしを聞くことができるお子さん向けに、絵本の読み聞かせやおはなし、紙芝居をしています。時間は約30分間です。保護者の方も一緒にご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

<子ども映画会>

1月17日(土)午後1時30分～ 多目的ホールにて

作品名は「ちいちゃんのかげおくり」(17分)、「くじらぐも」(11分)、「たぬきの糸車」(12分)。入場は無料です。お気軽にご来場ください。

人気の本ベスト10(予約の多い本) (平成15年12月16日現在)

順位	著者『タイトル』	予約者	順位	著者『タイトル』	予約者
1	養老孟司『バカの壁』	49名	6	天木直人『さらば外務省!』	23名
2	片山恭一『世界の中心で、愛をさけぶ』	46名	7	横山秀夫『半落ち』	22名
3	宮部みゆき『誰か』	37名	8	木村拓哉『開放区』	19名
4	岩崎峰子『祇園の教訓』	29名	8	桐野夏生『グロテスク』	19名
5	フジテレビ『トリビアの泉 へえの本』	26名	10	石田衣良『4teen』	18名

1月の企画コーナー

<2004年・読書のススメ～新成人へ～>

1月6日(火)～1月31日(土) 企画コーナー（貸出返却カウンター前）にて

新しい1年がスタートします。今年最初の企画コーナーでは、毎年、読書推進運動協議会が「若い人に贈る読書のすすめ」と題して選んでいる本を集めました。成人や卒業など新たな一步を踏み出す若い人のために選ばれた本なのですが、みずみずしい感性や柔軟な思考を持ち合わせている方なら、きっと気に入る本ばかり。新年早々、幸せな「本との出会い」に恵まれたなら、あなたのこの一年もきっと豊かなものになるでしょう。

<伝統行事に親しむ～郷土の民俗と祭礼～>

1月6日(火)～2月1日(日) 第二企画コーナー（読書案内カウンター斜め前）にて

福井県内では「睦月神事」（清水町）、「越前万歳」（武生市）など四つの伝統行事が国の重要無形民俗文化財に指定されており、その他にも県内各地で様々な年中行事や祭礼がとりおこなわれています。新年1月はこれら福井の民俗や祭りに関する本を特集します。これを機に、地元に伝わる伝統行事に親しんでみてはいかがでしょうか。

図書館利用の“いろは”～複写（コピー）について～

県立図書館では、複写（コピー）サービスを1枚につき10円で提供していますが、どんなものでもコピーできるわけではありません。図書館では、著作権法第31条に定める範囲内でしかコピーできません。

まず、コピーできるものは、県立図書館の所蔵資料だけです（持ち込みのノートや、個人の本、他の図書館の資料はコピーできません）。次に、コピーの目的は調査研究であること。そしてコピーできる範囲は資料の一部分であること。具体的には、1冊の本・1枚の地図は半分を超えない範囲しかコピーできません（まるごと1冊、まるごと1枚をコピーすることはできないということです）。また、当日の新聞や最新号の雑誌は、全くコピーすることができません。コピーできる部数にも制限があり、1人1部だけとなっています。

著作者の権利を守るために、ご理解とご協力をお願いいたします。

図書館の“数字”

Q. 本の背に貼られたラベルの数字の意味は？（右を参照）

A. 3段ラベルの1段目の数字は、『日本十進分類法（NDC）』という、日本全国ほとんどの図書館で採用されている分類法に基づく本の分類番号を意味しています。そして2段目のカタカナは、著者名のヨミ3文字を意味しています（例外もあり）。図書館では、このラベルの1段目の数字と2段目のカナの順に、本が書架に並べられています。例えば右のラベルは、養老孟司さん『バカの壁』の背ラベルですが、「914.6」はNDCでは随筆・エッセイの分類を意味しています。分類番号を覚えてしまえば、ラベルをみるだけで、その本がどのような内容かが、ある程度分かるわけです。番号を全部覚えるのは大変なので、特に1番左の数字だけでも覚えるとよいでしょう（914.6の場合は9）。1番左の数字には次のような意味があります。

- | | | | | |
|------|------|------|--------|--------|
| 0…総記 | 1…哲学 | 2…歴史 | 3…社会科学 | 4…自然科学 |
| 5…技術 | 6…産業 | 7…芸術 | 8…言語 | 9…文学 |

ラベルや分類、本の並び方については、調査・相談カウンターまでお気軽にお問い合わせください。

